



登山を通して知った大切なこと

こんにちは。古市教室の高木奈穂子です。

今回久しぶりにこの欄を担当することになり、どんな内容にしようかと悩んだのですが、趣味の登山のことを書こうと思います。少々お付き合いください。

生徒の皆さん、保護者の皆さんは何か好きなことや趣味などがありますか？

私が登山を始めたのは2021年4月、ちょうど3年ほど前です。初めは近くの低山からスタートし、今は関西近郊の山や少し足を伸ばして他県の山を登っています。

大阪府在住の方ならご存知かもしれませんが、大阪府南部にある金剛山は一人で何度も訪れるほどお気に入りの山です。

そんな中、Instagramで流れてきた広告で登山ツアーというものがあり、せっかくなので一人で参加し

てみよう!と思い、長野県にある浅間山の外輪山のひとつである黒班山へ行くことにしました。

そこで知り合ったのは、エベレストの登頂に成功し、世界の名だたる山々をガイドされている方や、38万人ものフォロワーがいるインフルエンサーの方など、性別も年齢もキャリアもさまざまな方々でした。

中でも一番驚いたのは、私よりも年上の男性です。「来年、エベレストに登るんだよ」と。「このツアーに来る前もちょうどゴールデンウィークの時にヒマラヤの6,000M級の山に登ってきたんだよね」「登山を初めて一年目にキリマンジャロ(アフリカ大陸最高峰)に登ったよ」

もう、全然レベルが違いすぎて、自分のことなんて恥ずかしくて言えないほどです。

何十年もの登山歴をお持ちの方かと思いきや、よくよく話を聞いてみると、まだ5年ほどなんだそうです。「でもね、どんなに高い山でもキチンと準備をして、正しい方法を習ってね、ちゃんと目的意識を持てば誰だって行けるんだよ」と。

高木 奈穂子(古市教室)

誰もが驚くようなキャリアを持っている人でも、用意周到に準備をし、明確に目的意識を持ち、コツコツと努力を続けていれば世界の頂きにたどり着くことができるんだと思った出来事でした。

ヒマラヤやエベレストは無理でもコツコツと努力を続けていれば、私なりに今までとは違う景色を見ることができのかなと感じた一言でした。

生徒の皆さんも、カイチの先生達が勉強や学生生活を送る上での正しい方法を教えてくれていますよね。自分でしっかりと目的意識を持ち、正しい方法を身につけて努力をすれば、きっと皆さんなりの頂きにたどり着くことができますよ。



▲右後ろに見えるのは浅間山です。雄大な景色でした。

determined through assessment. Schools can decide in which grade their students will take the program. Actually, public schools have ALTs from English speaking countries to assist Japanese English teachers in teaching English. However, the new program has offered a more rigorous and personalized learning experience. According to Asahi Shimbun, the 1.3-billion-yen project is a partnership with the private education sector and students are collected no additional fees. Yet, the lessons are not regularly provided.



Students at 50 chosen schools with specialized English curriculums have been offered 10 to 20 sessions a year during class hours. The other students have the option to take the online classes from their home or elsewhere. A team member of the project emphasized the advantages of private lessons, which were not attainable with a single ALT in the classroom, stating one-on-one interactions really work, even though only for a short time. Thus, this collaboration has mutual benefits between Tokyo Metropolitan government and Philippines. Not only the economic advantages, but it is also encouraging to my fellow English educators in the Philippines to extend beyond borders to fill in the gap for global education.

英語の専門カリキュラムを持つ50校の生徒は、授業時間中に年間10〜20回のセッションを提供しています。他の学生は、自宅または他の場所からオンラインクラスを受講するオプションがあります。プロジェクトのチームメンバーは、教室にALTが1人いるだけでは達成できないプライベートレッスンの利点を強調し、1対1のやり取りは短時間ではありますが、本当に効果的であると述べました。

このように、この協力関係は、東京都とフィリピン政府の間に相互利益をもたらします。経済的な利点だけでなく、フィリピンの仲間の英語教育者にとっても、国境を越えてグローバル教育のギャップを埋めることは励みになります。



シルバのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE Silvestre Benigno Medelin (Talking Kids & Junior High School Eiken English Teacher)

Teaching Across Borders - Filipino Educators Elevating English Learning in Japan
国境を越えた教育 - フィリピン人教育者が日本で英語学習を高める

Filipino English teachers have been committed to providing quality English education all over the world. Our dedication of teaching English is undeniably evident in countries aiming for globalization and the booming English language schools in the Philippines. Passion and love in teaching has been one of our greatest assets to be chosen as English Educators. Competitive Filipino English teachers have been deployed to several countries to impart their skills in teaching English. Also, students and profession-



フィリピンの英語教師は、世界中で質の高い英語教育を提供することに尽力してきました。私達の英語教育への献身は、グローバル化を目指す国々やフィリピンの英語学校が活況を呈していることから明らかです。教えることへの情熱と愛情は、英語教育者として選ばれる私達の最大の資産の1つです。競争力のあるフィリピン人英語教師がいくつかの国に派遣され、英語教育のスキルを伝授しています。また、アジア諸国の学生や専門家が英語を学ぶためにフィリピンに来ます。

フィリピンの英語教育者と東京都教育委員会の教育エンゲージメントに関するニュースをご存知ですか？フィリピンの英語教育者が選ばれ、東京の公立高校生にマンツーマンのオンラインレッスンを提供しました。

カイチからのお知らせ

■6月15日(土)・6月22日(土)は中学生対象に期末テスト対策の9時間自習を13時〜22時で行います。みんなで頑張りましょう。
■6月23日(日)は珠算上級検定です。6月22日(土)は直前練習を実施いたします。時間については、各教室にお問い合わせください。
■6月30日(日)は珠算段位検定です。6月29日(土)は直前練習を実施いたします。時間については、各教室にお問い合わせください。

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



June 2024
Vol. 141
毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662

【鶴見区諸口】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984

【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008

【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【カイコベ】
城東区今福西 3-4-9
TEL.06-6180-6565

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000

【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117

【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467

【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220

【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011



高木 秀章(塾長)

今年も事業計画発表会を実施しました



先日、カイチの事業計画発表会を行いました。「事業計画発表会って何？」と思った人もいるかもしれませんが、要は、みんなが定期テスト前にスケジュールシートに目標得点を決め、計画を立てるように、各先生が今年の目標とそれに対する計画を発表する場です。

カイチの社員の先生達は授業をする以外に、様々なプロジェクトを担当しています。例えば、学童の仕組みやサービスを作っているルイージ先生やグレン先生、パスカルの教材を開発しているマナロ先生、また岡本先生は元印刷会社の細越先生とパスカルキッズのフランチャイズを全国に販売したりしています。(実は全国に30校舎もあるんですよ)

普通の事業計画発表会はその会社の社長が1時間くらい、昨年度の振り返りや今年1年の目標や計画を話して終わりますが、カイチでは全員で発表します。よって、かかる時間は7時間以上、プレゼンに使うスライドは500枚以上になります。

そんなに長時間の話を聞くのはうんざりと思うかもしれませんが、先生達は授業のプロ。スライド作りは凝っているし、話すのがとにかく上手い。聞いている方が退屈するというのは一切ありません。

例えば、マナロ先生。パスカルの教材(実はそろばんの教材も)は全て、カイチの先生達が作っています。今年度は、マナロ先生が、パスカルキッズの年少・年中さん用教材プレスクールを色々な工夫を組み込みながら完成させたエピソードを話してくれました。また、パスカルキッズのインスタグラムの担当もマナロ先生です。今年はフォロワー1万人を達成するそうです。また、カイチのかわいいスクールバッグを作って、町のみんながそのバッグを持つようにしたいと、お母さんらしいナイスなアイデアも話してくれました。

また、かいち学童のサービスや仕組みを作っているのはルイージ先生とグレン先生。学童の新任の先生達の育成のマニュアルや、入塾説明の資料なども二人が作っています。二人は日本語が上手ですが、それでも外国人の先生です。説明会では、保護者の皆さんが自分達を信用してくれるかを、とても悩

んだという話をしてくれました。でも、あるお母さんの相談に乗った時、自分の言葉に感動して、そのお母さんが泣いてくれたそうです。そこから、言葉の流暢さより気持ちが大切なことに気づき、言葉の不安が薄れたそうです。

昨年、癌になり入院した川西先生は「普通であることは普通ではない」という話をしてくれました。入院してベッドで寝ていると、日に日に自分の体力が失われていくのが分かる。このままでは自分はダメになる。そういう焦りがあったそうです。その中で、「日常はあたりまえではないこと」「普通を大切にすること」に気づいたそうです。最後に、邪魔くささらずに人間ドックに行くことを皆に薦めてくれました。治療の辛さを考えると、人間ドックの辛さなんて楽なものだ。特に入院中、脊髄への注射も痛かったが、それ以上に一晩中、手の甲に打つ点滴がどれほど痛いか。すごい説得力でした。私も、今年からは人間ドックに行くことにします。



▲今年のMVPは川西先生でした! がん職場復帰し、授業はできませんでしたが、裏方でみんなの仕事を支えてくれました。髪の毛もなくなり、痩せながらも、淡々と働く彼を見て、心底強い人間なのだなと思いました。私は12月の冬期講習中に、彼と今福教室で受験生の自習室の質疑担当をしましたが、とにかく川西先生がいると安心感がすごい。全てを先回りしてやってくれ、指導に集中できるようにしてくれる。おそらく、他の先生達も川西先生が不在の数カ月間に、彼がいかに普段から、みんなが嫌がる仕事を率先して行い、陰でみんなのために動いてくれていたかを痛感したのでしよう。満場一致のMVPでした。

また、プレゼン大賞はカイチ予備校の福井先生が受賞しました。福井先生は予備校の人材育成の担当であり、数学指導のプロです。発表では自分の教務や人材育成の思いを語られましたが、普段の大人しい福井先生とは打って変わり、迫力のある思いのこもった発表は圧巻でした。もう、聞いていて泣きそうになりました。すごい先生だな。さすがプロだなと感じました。

そして、毎回、坪田先生の掛け声とともに、みんなで「オー」と叫んで終わるのが恒例です。今年の坪田先生の掛け声は、「子供達の人生にインパクトを与えるぞー!」でした。

確かに、先生達となら、「子供達の人生にインパクトを与える」そんな塾に成長していけるかもしれない。そんな気持ちにさせてくれる事業計画発表会でした。



Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

個別専門のカイコベ
「学習方法」の指導に力を入れています!

井上 陽平 (カイコベ教室長)

日が長くなり、強い日差しに汗ばむようになってきました。夏の到来を予感する今日この頃ですね。今回は、蒲生4丁目に3月から開校している「カイコベ」についてご紹介させていただきます。

「勉強を頑張りたいけど正しいやり方がわからない。」「クラブ活動や課外活動で勉強時間を取りづらい。」「自分のペースで、自分に合った勉強をしたい。」「カイコベは、このような子供達のために作られた、開智総合学院初の個別指導専門教室です。カイコベでは、日々の声かけで生徒1人1人の様子を把握し、少人数授業で丁寧に指導しております。まずは、カイコベの小学個別クラスから見ていきましょう。

<小学個別クラス>

カイコベでは、カイチとして初めての小学個別クラスを設けています。現在、小学2年生から5年生までの生徒が通っており、毎回真剣な様子で授業に取り組んでいます。私は昨年度まで小学生の集団指導を担当していましたが、個別指導をしていると、問題を解くプロセスまで細かく丁寧に見られるので、その子に応じて学習アドバイスができます。また、ノートの使い方や丸つけの仕方など、勉強する上での基礎的な学習方法にまで目が行き届きます。小学生から、このような学習方法を身に付けることができれば、中学・高校生の勉強でも成果を得やすくなります。「正しい学習方法」を身に付け、学校のテストで高得点を取り、自信をつけてもらえたらと思います。また、カイコベの小



▲集中して問題を解いています!



▲遠足楽しかったです!

学生も前回の遠足に参加しました。小学個別クラスは、これからもたくさんのイベントで盛り上げていきます。

<中学個別クラス>

小学生に負けず劣らず、中学生達も頑張っています。開校時6名だった中学生は、現在18名となっており、教室が賑やかになってきました。カイコベの中学生は、厳しい運動部や課外活動をしている子がほとんどです。話を聞くと、朝から晩まで練習試合があったり、熱中症になりそうな中でも大きな声を出して練習していたりと、ハードな毎日を送っています。そんな中でも、宿題を忘れずにやりきり、遅刻せずに塾に来て、小テストにも合格するまで取り組むカイコベ生は、本当に頑張り屋さんです。



▲カイコベでは楽しい雰囲気も大切にしています。

生徒だけでなく、カイコベの先生達も優秀で努力家です。中学生の指導は、大学生の非常勤講師が担当しています。生徒が授業内容を理解しやすいように、早めに教室に来て準備したり、どのような教え方が効果的かを先生同士で話し合ったりしています。それだけでなく、生徒が楽しく安心してカイコベに通えるよう、積極的にコミュニケーションを取り、生徒の良きパートナーになってくれています。

生徒だけでなく、カイコベの先生達も優秀で努力家です。中学生の指導は、大学生の非常勤講師が担当しています。生徒が授業内容を理解しやすいように、早めに教室に来て準備したり、どのような教え方が効果的かを先生同士で話し合ったりしています。それだけでなく、生徒が楽しく安心してカイコベに通えるよう、積極的にコミュニケーションを取り、生徒の良きパートナーになってくれています。

<定期テスト対策>

中学生は、5月中旬～5月末にかけて新学年最

初の定期テストがありました。カイコベでは、テストの3週間前から対策授業を行いました。テスト対策の肝は「スケジュールシート」。スケジュールシートは、定期テストの目標点・学習内容・学習計画を整理するためのツールです。何の勉強を、どの順番で、どのタイミングで進めていくのかを計画して取り組んでいければ、3週間の対策期間はとても有意義な時間となります。カイコベでは、授業や自習時間でスケジュールシートを確認し、生徒の学習状況を把握しながら、様々なアドバイスを行いました。カイコベの強みは、生徒1人1人とのカウンセリングの時間をたくさん取れること。その中で、勉強の進め方、すなわち「正しい学習方法」を身に付けさせ、自ら問題に取り組んでいけるようにサポートしています。また、カイチお馴染みの9時間自習も実施して、高いモチベーションでテストに挑みました。その結果、カイコベに入る前から50点以上アップした生徒が出るなど、素晴らしい結果を残してくれました。



▲スケジュールシートで学習方法をチェックしています。



▲9時間自習といえばみんなでお弁当!

カイコベは、開校したばかりの駆け出しの教室ですが、生徒と先生の熱意は十分です。この勢いをさらに強めて、地域になくてはならない個別指導塾を目指していきます。カイコベは決して楽な個別指導塾ではありませんが、自分のペースで全力で取り組みたい人は、是非来てみてください。カイコベは、そんな「頑張るあなたの居場所」となります。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

受験生の心構え5カ条

高木 直也 (諸口教室長)

今年度も早いもので3か月がたちました。期末テストが終わるといよいよ勝負の夏がやってきます。そこで、持っておきたい受験生の心構えをお伝えしたいと思います。

① 塾を休まない。



もちろん無理して来いという話ではありません。各科目、限られた時間の中で先生達が思考を凝らして授業を準備しています。休むと確実に休んでいない生徒とは差がつきます。体調不良等で欠席が多くなりすぎないように、日々の生活態度を見なおしてみましょう。

② 規則正しい生活を送る。



人に与えられた時間はみな等しく24時間。そのなかでいかにその時間を活用できるかが受験ではカギになります。勉強する時間を確保してもその時の体調が万全でなければその時間を活かすことができません。特に日々口うるさく生徒に語っているのは「しっかり睡眠をとること」です。最低でも7時間は確保するようにしましょう。



▲大変な時は抱え込まずに、周りの人との会話を大切にしよう。

睡眠不足が日々の集中力を低下させ、情緒不安定にしまいます。また、学校の授業中や塾の授業中に居眠りをしてしまい、それを取り戻すための勉強に時間がかかってしまうので受験勉強の負担が大きくなります。

③ 学校・塾の課題をやりきることにこだわる。



たまた、塾の教材、学校の教材をほったらかして自分で教材を購入し適当に勉強する生徒がいますが、それでは成績は上がりません。学校、塾の先生は数ある教材の中から厳選して選んでいます。学校教材、塾教材をしっかりとやり切ることにこだわって勉強してください。

授業を受ける→問題を解く→間違い直しをする→復習する→質問する

この手順をしっかり守ってください。

④ わからないことは質問する。



自主勉強中、わからないところはいくつも出てくるかと思います。わからないところはど



▲学校・塾の課題はきちんとやりきる。

んどん持ってきてください。授業前後、居残り、自習中에서도いつでも持ってきてください。生徒の質問を受けることで先生達は生徒の弱点を分析できて、授業に反映させることができます。質疑応答は生徒達のためだけでなく先生達にとってもプラスに働きます。

⑤ ご家族やご友人、先生達との会話を大切に。



受験勉強の中で必ずしんどいときはでできます。そういうときは一人で抱え込まずにご家族やご友人、塾の先生とコミュニケーションをとってみましょう。悩んでいる内容を打ち明ける必要ありません。家族や友人との何気ない会話が、気持ちを落ち着かせたり、切り替えるチャンスを与えてくれます。

受験勉強は長丁場の勝負になります。短期間に無理して勉強しても結果は出ません。着実に毎日少しずつでも勉強の時間を作っていくことが大切です。カイチの先生達も皆さんの志望校合格のため全力で寄り添います。

一緒に頑張っていきましょう。



▲質問の多い生徒は確実に伸びる!